

南木曾町リニア中央新幹線 対策協議会

令和7(2025)年7月16日(水)

東海旅客鉄道株式会社

【報告事項】

1. 各工区の進捗状況
2. 南木曽町内発生土置き場（押出北）候補地の計画に関する説明会の報告

1. 各工区の進捗状況

2025.7.16
JR東海

広瀬工区



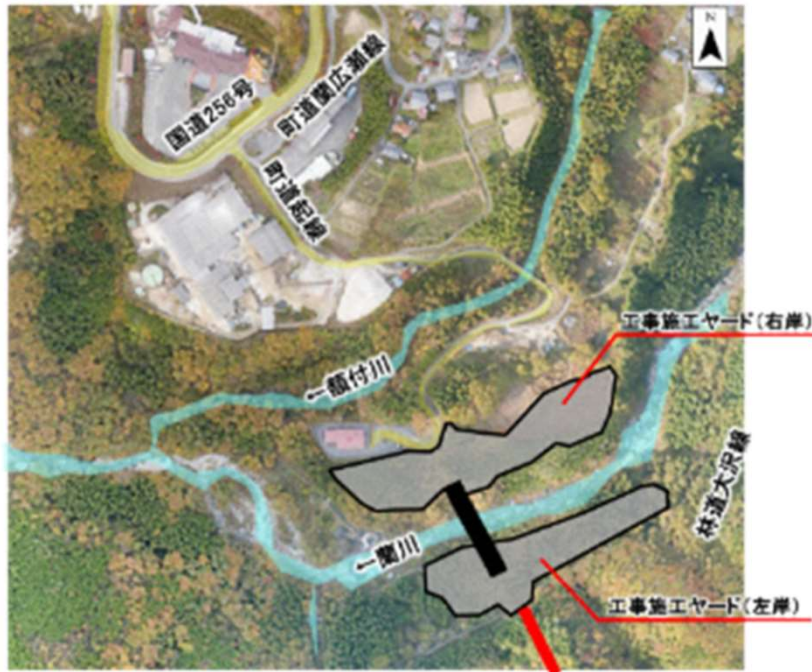
斜坑掘削状況 (R7.6撮影)



1. 各工区の進捗状況

2025.7.16
JR東海

尾越工区



本坑掘削状況(R7.6撮影)



1. 各工区の進捗状況

2025.7.16
JR東海

山口工区



斜坑坑口状況 (R7.5撮影)



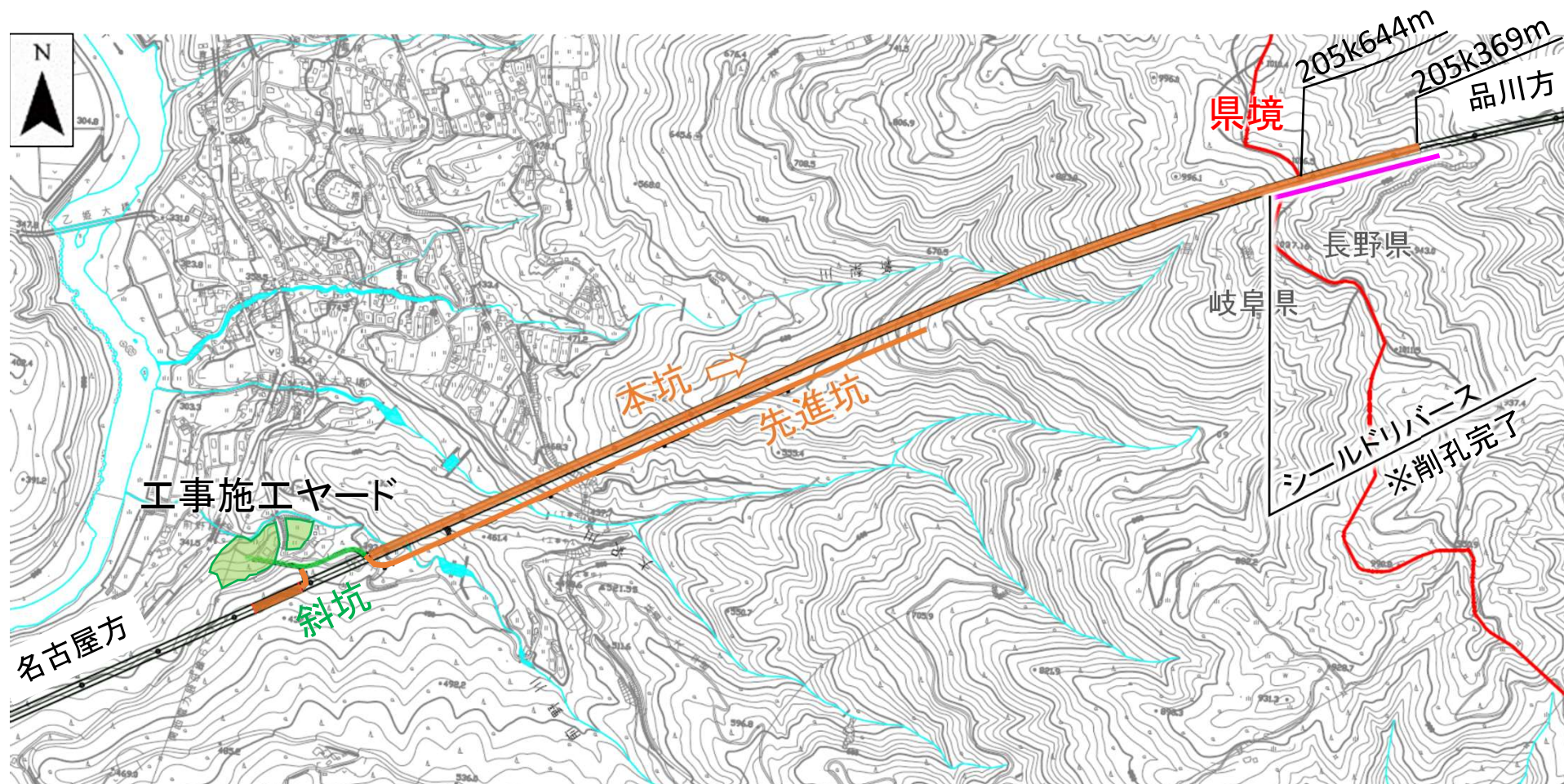
本坑 施工状況 (R7.6撮影)

1. 各工区の進捗状況

2025.7.16
JR東海

山口工区

※6月末時点

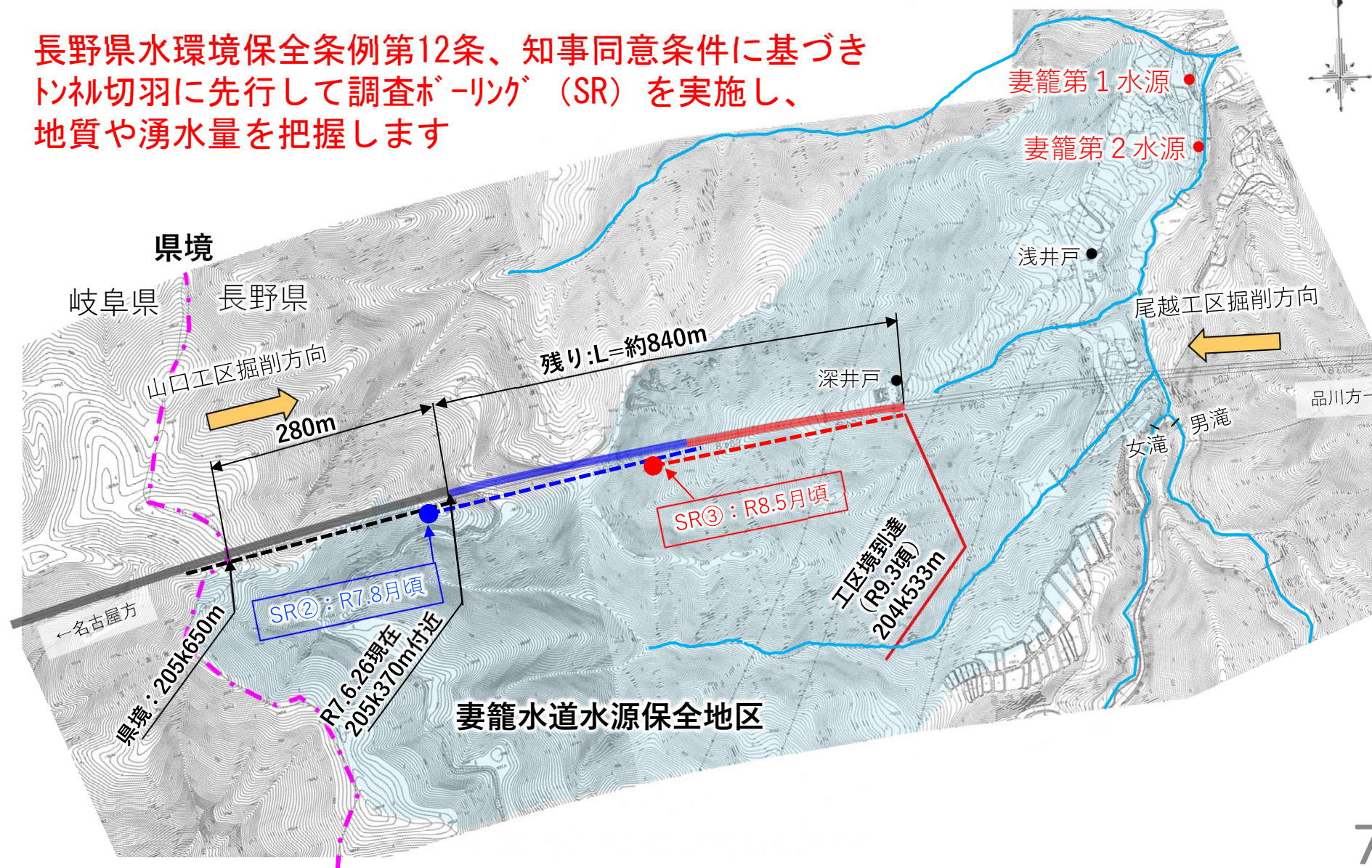


1. 各工区の進捗状況

2025.7.16
JR東海

山口工区 先進調査ボーリングの計画 (月進40mの場合)

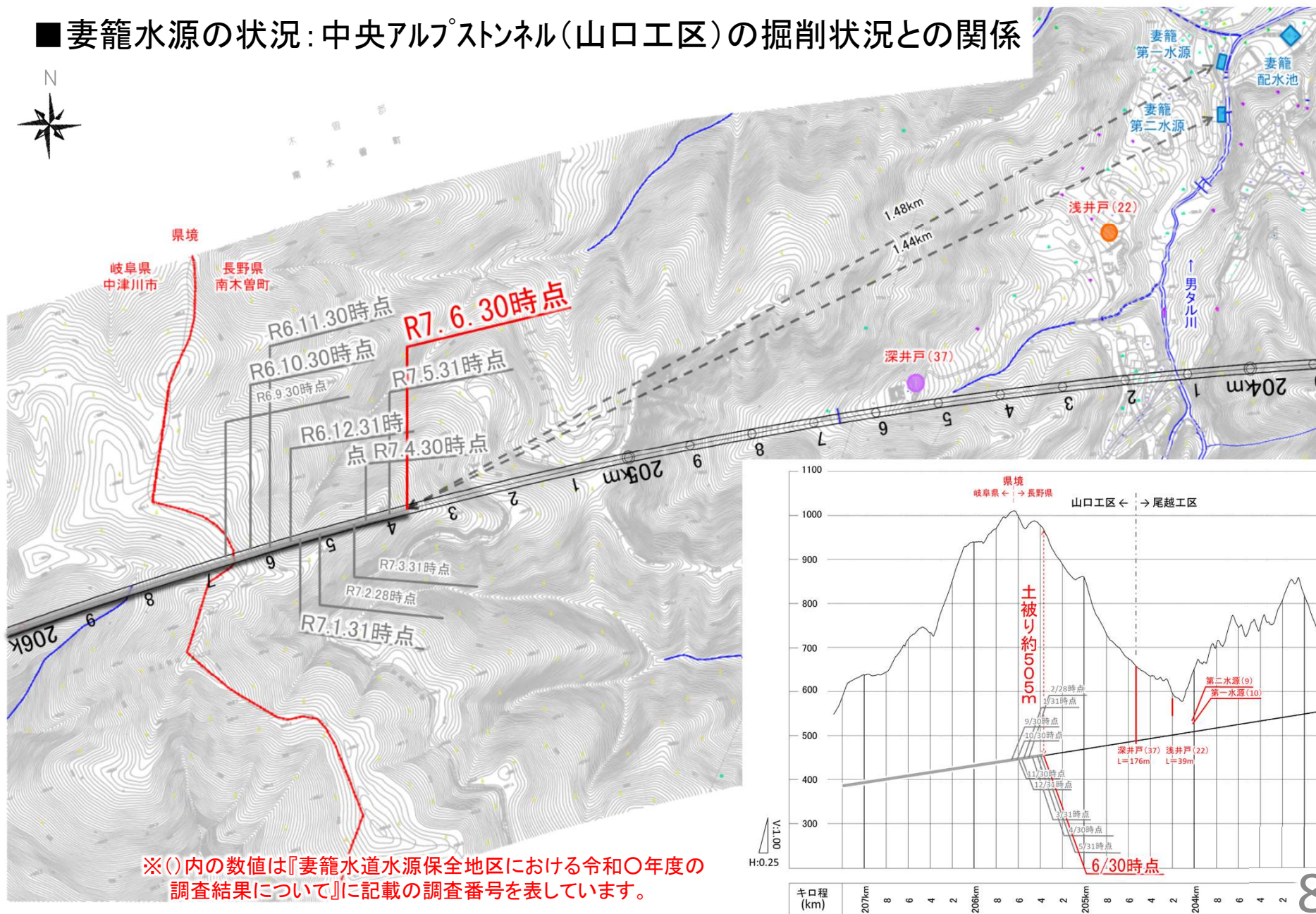
長野県水環境保全条例第12条、知事同意条件に基づき
トンネル切羽に先行して調査ボーリング (SR) を実施し、
地質や湧水量を把握します



1. 各工区の進捗状況

2025.7.16
JR東海

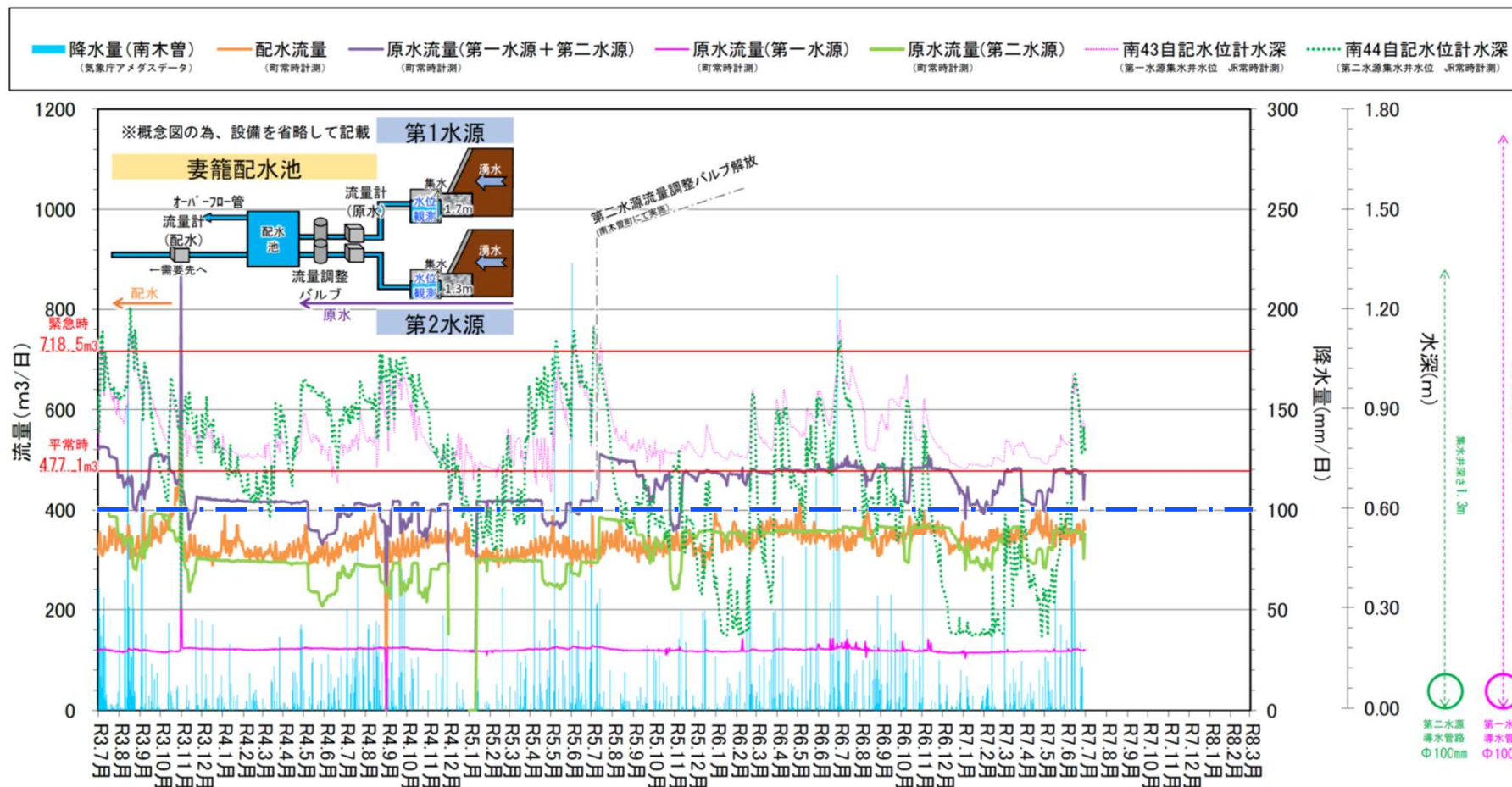
■妻籠水源の状況：中央アルプストンネル(山口工区)の掘削状況との関係



1. 各工区の進捗状況

2025.7.16
JR東海

■妻籠水源の状況：水源施設原水・配水量変動図（妻籠配水池）

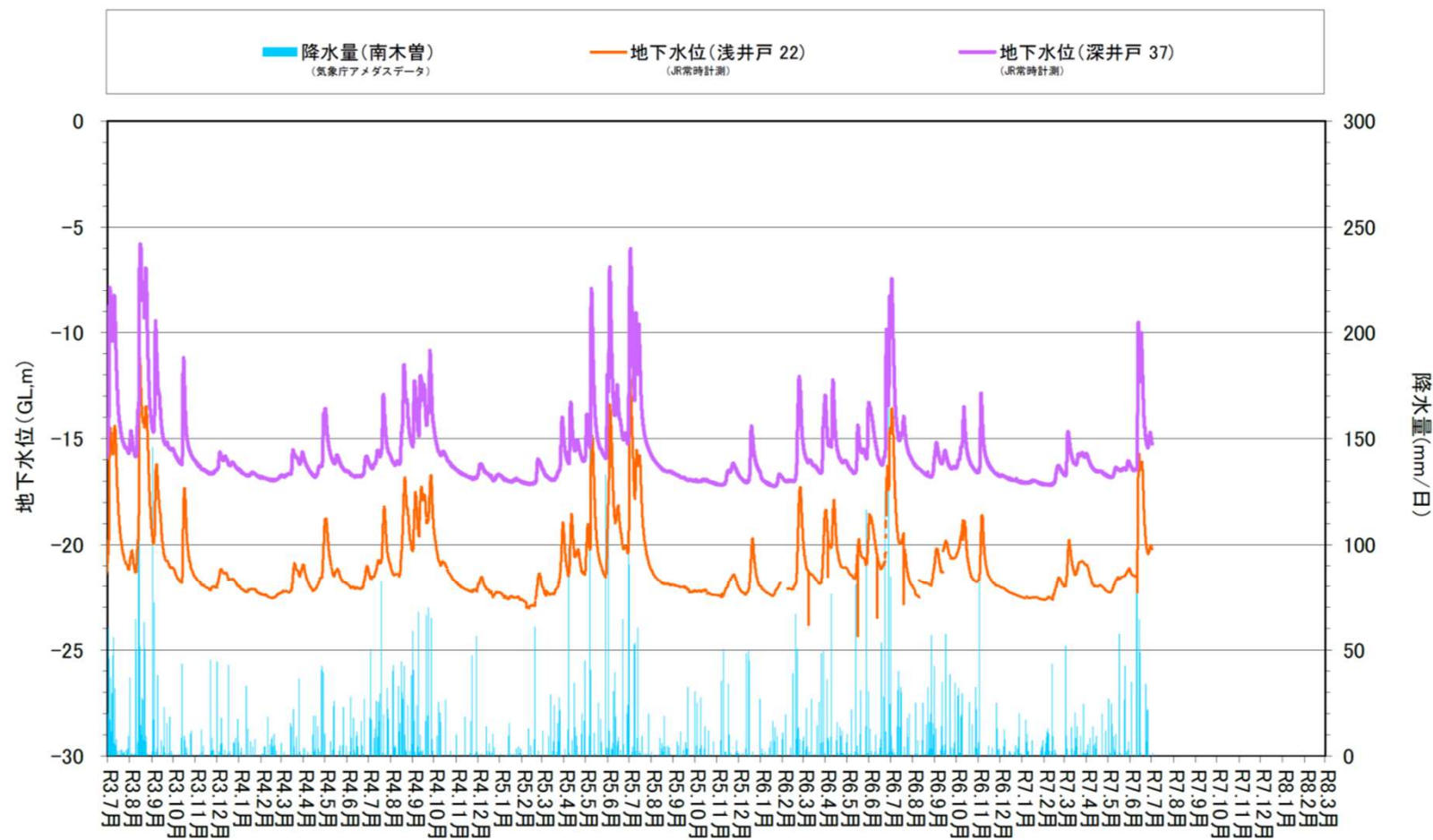


※長期休み期間は400m³/日をそれ以外の日は350m³/日を原水取水流量の基準値として運用中
R6(2024)3.26対策協議会

1. 各工区の進捗状況

2025.7.16
JR東海

■妻籠水源の状況：観測井の水位変動図（浅井戸・深井戸）



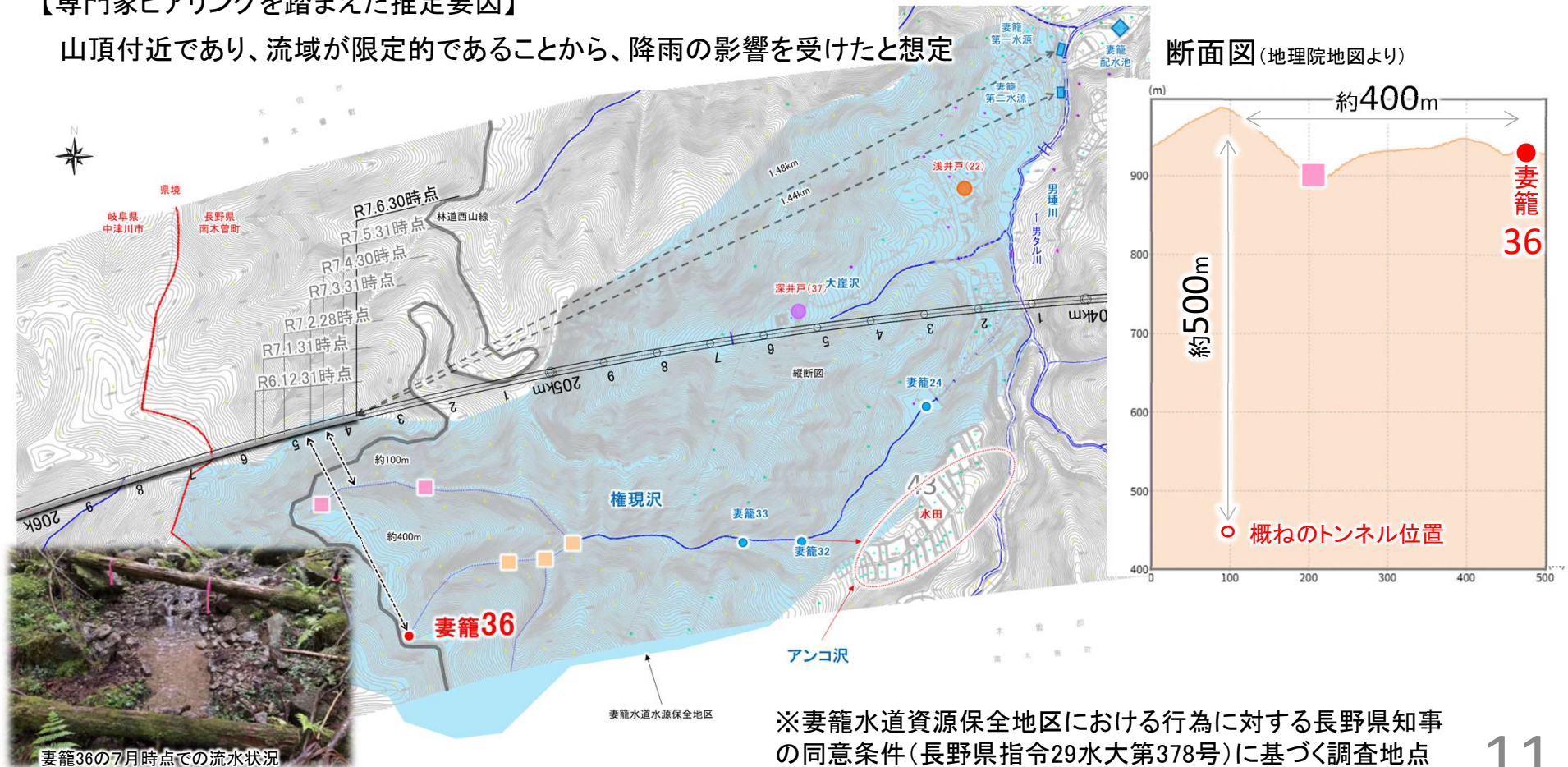
県境(山頂)付近の調査地点の流水について

2025.7.16
JR東海

- 岐阜、長野県境からほど近い、水文調査地点(妻籠36※)において、2025年1月～流水を確認できない状態が続いていたが、(2月、3月は積雪のため、観測不可)、7月に流水を再確認した
- 水文調査地点(妻籠36)で流水を確認できない期間においても、下流側調査地点及び、調査地点間(■箇所)において流水を確認していたほか、トンネルにより近い側の沢筋(■箇所)においても流水を確認していた
- 調査地点のトンネル箇所との平面離隔は約400m、トンネル位置との標高差は約500m
- 下流域の水田で権現沢及び隣接のアンコ沢の水が利用されているがこの水利用への影響は生じていない

【専門家ヒアリングを踏まえた推定要因】

山頂付近であり、流域が限定的であることから、降雨の影響を受けたと想定



2. 説明会の報告

2025.7.16
JR東海

開催日

令和 7 (2025) 年

6 月 1 6 日 (月) : 蘭地区、広瀬地区

6 月 2 5 日 (水) : 妻籠地区

【説明内容】

○発生土置き場(押出北)候補地

- ・ 発生土置き場候補地の位置・状況
- ・ 発生土置き場候補地の計画
- ・ 工事中、完了後の管理計画
- ・ 盛土規制法に基づく周辺住民への周知

2. 説明会の報告

2025.7.16
JR東海

お手元の説明会資料をご覧ください

配布資料1



南木曾町内発生土置き場(押出北)
候補地の計画について

令和7(2025)年6月16日(月) 19:00 於:南木曾公民館 蘭分館
令和7(2025)年6月25日(水) 19:00 於:妻籠町並み交流センター

東海旅客鉄道株式会社
中央新幹線長野工事事務所

南木曾町内発生土置き場(押出北) 候補地の計画について

令和7(2025)年6月16日(月) 19:00 於:南木曾公民館 蘭分館

令和7(2025)年6月25日(水) 19:00 於:妻籠町並み交流センター

東海旅客鉄道株式会社
中央新幹線長野工事事務所

- 令和5年5月、6月に開催の説明会にてご説明し、令和5年12月に南木曾町リニア対策協議会の委員の皆様により現地視察いただいた、発生土置き場（押出北）候補地について、計画を深度化しましたので、内容についてご説明いたします
- なお、今後、専門家、関係行政の確認を経つつ、更に計画を深度化してまいります
- 準備が整い次第、工事説明会を開催し、工事計画を周辺住民の皆様へご説明いたします

1. 発生土置き場候補地の位置・状況
2. 発生土置き場候補地の計画
3. 工事中、完了後の管理計画
4. 盛土規制法に基づく周辺住民への周知
5. 今後の予定

1. 発生土置き場候補地の位置・状況
2. 発生土置き場候補地の計画
3. 工事中、完了後の管理計画
4. 盛土規制法に基づく周辺住民への周知
5. 今後の予定

発生土置き場候補地の位置

工事が施工される土地の所在地
・長野県木曽郡南木曽町吾妻2278-1ほか



凡例

下線 は、当発生土置き場への該当項目

 発生土置き場の施工予定範囲

 土砂災害特別警戒区域
(土石流)

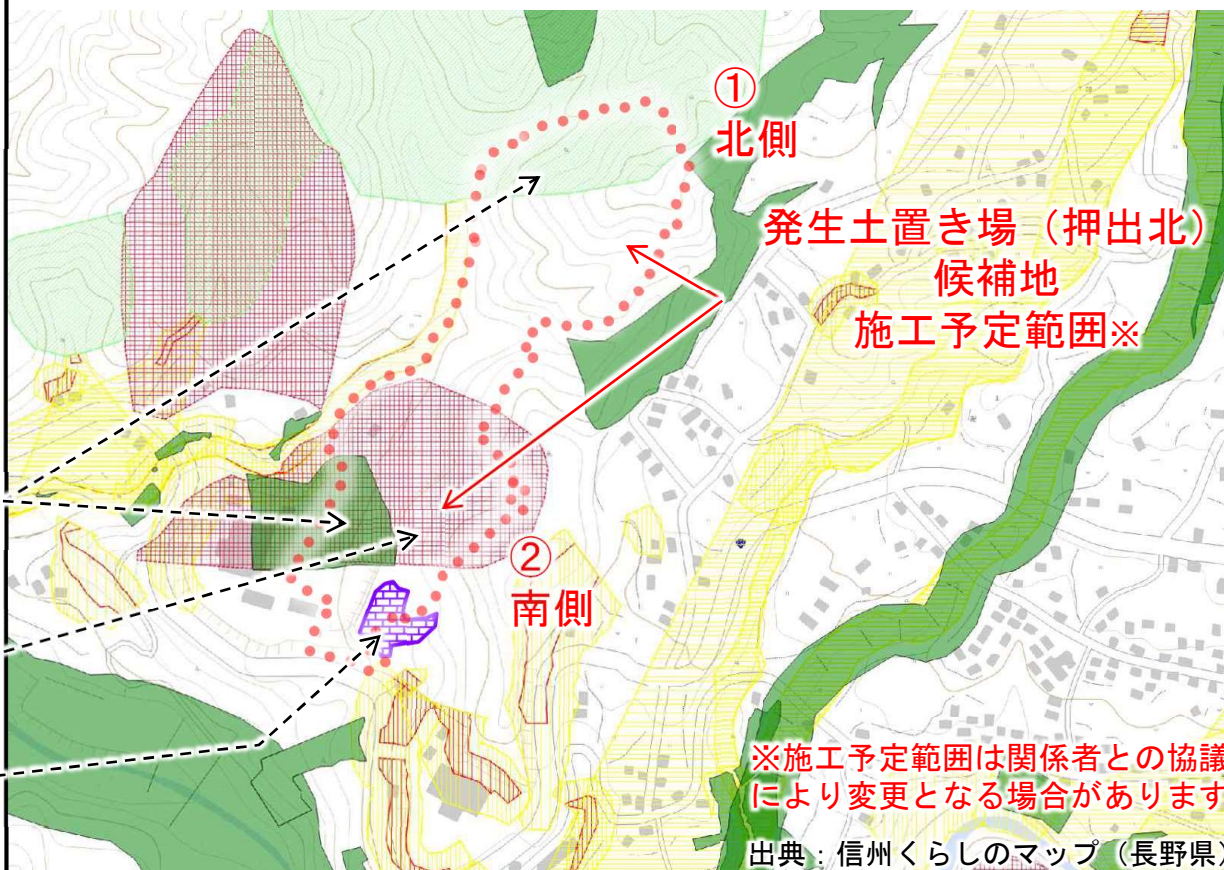
 土砂災害警戒区域
(土石流)

 砂防指定地

 土砂災害危険溪流

 山地災害危険地区
(山腹崩壊危険地区(林務))

 保安林



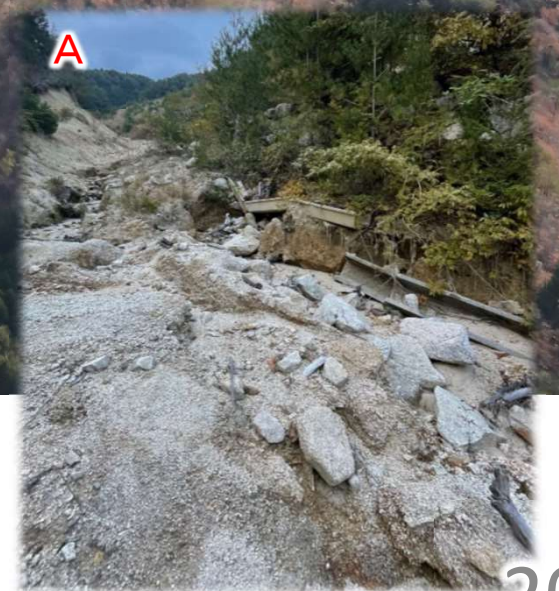
- 発生土置き場の施工予定範囲の一部は砂防指定地、土砂災害危険溪流、山地災害危険区域、保安林に指定されていますが盛土等を規制するものではありません

※砂防指定地、保安林内への恒久的な盛土は実施しない計画です。

- 関係法令の技術基準に基づき設計し、法令手続きの中で、長野県にも安全性についてご確認いただくとともに、適切な対策を実施し、安全に造成、管理をしていきます



- ①北側は特に、地山表面の真砂化が進んでおり、土砂の流出が認められるため、リニア建設発生土を活用し、対策を実施します



1. 発生土置き場候補地の位置・状況
- 2. 発生土置き場候補地の計画**
3. 工事中、完了後の管理計画
4. 盛土規制法に基づく周辺住民への周知
5. 今後の予定

造成範囲と盛土形状(全体)

盛土又は切土をする土地の面積

・約10万㎡

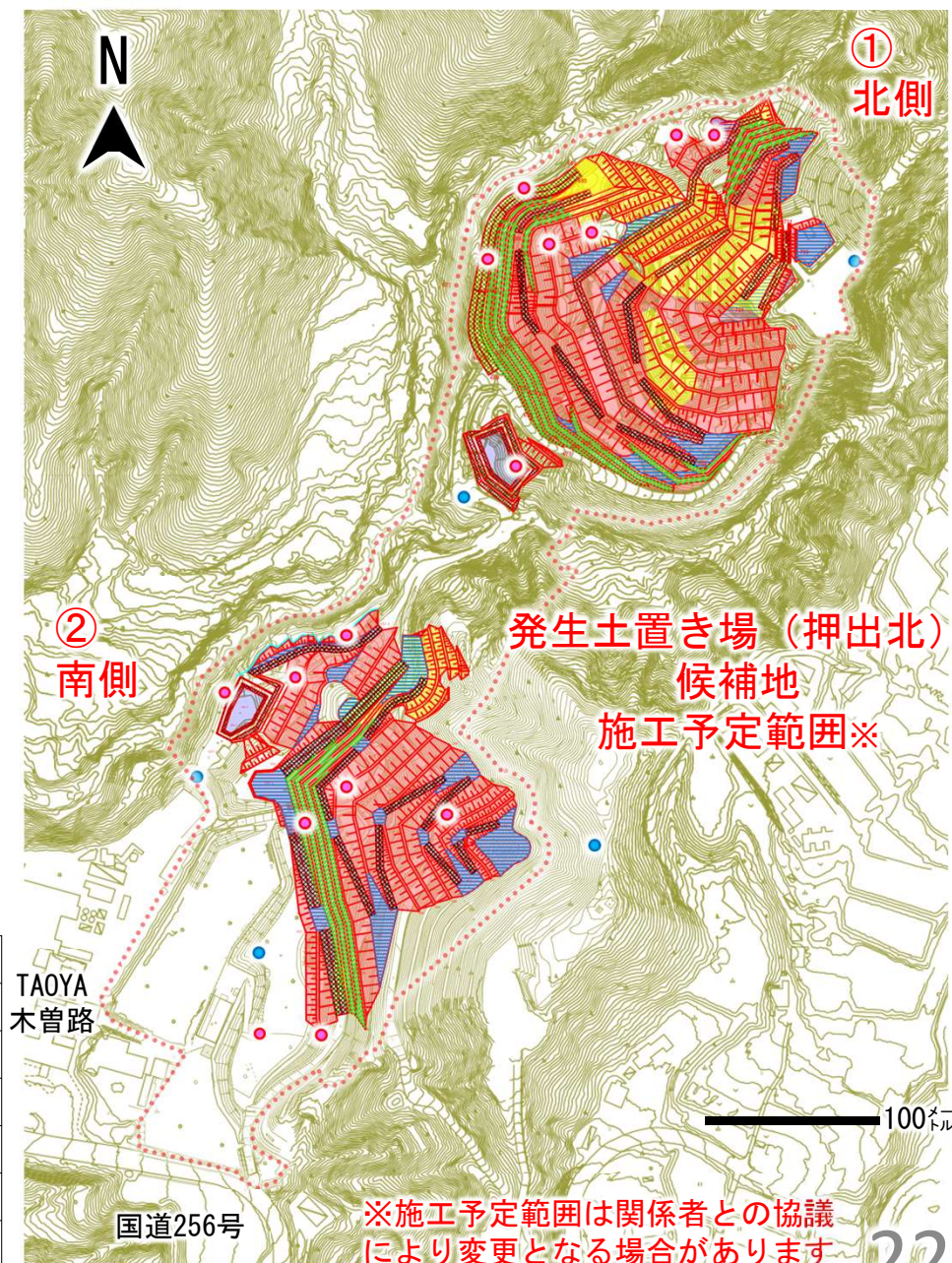
盛土又は切土の土量

・盛土：約30万m³、切土：約5万m³

- ・ 北側の盛土は約10万m³、
南側の盛土は約20万m³を計画しています
- ・ 計画の深度化にあたり、15箇所の地質調査のほか、5箇所、観測井の設置を実施しています

凡 例

	切土
	盛土
	管理用道路
	平場
	補強盛土
	地質調査地点
	観測井設置箇所



盛土又は切土の高さ

- ・ 盛土：約65m、切土：約50m

盛土又は切土の土量

- ・ 盛土：約10万m³、切土：約4万m³

- ・ 補強盛土(勾配1:0.6)と安定勾配盛土(勾配1:2.0)を複合し盛土を計画しています

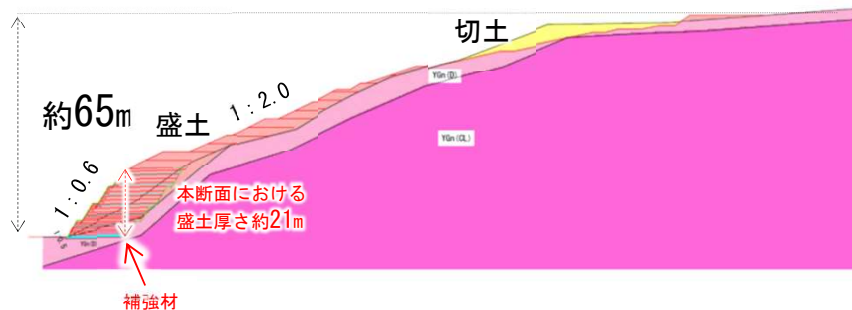
断面図凡例

	切土
	盛土
	風化花崗岩
	花崗岩

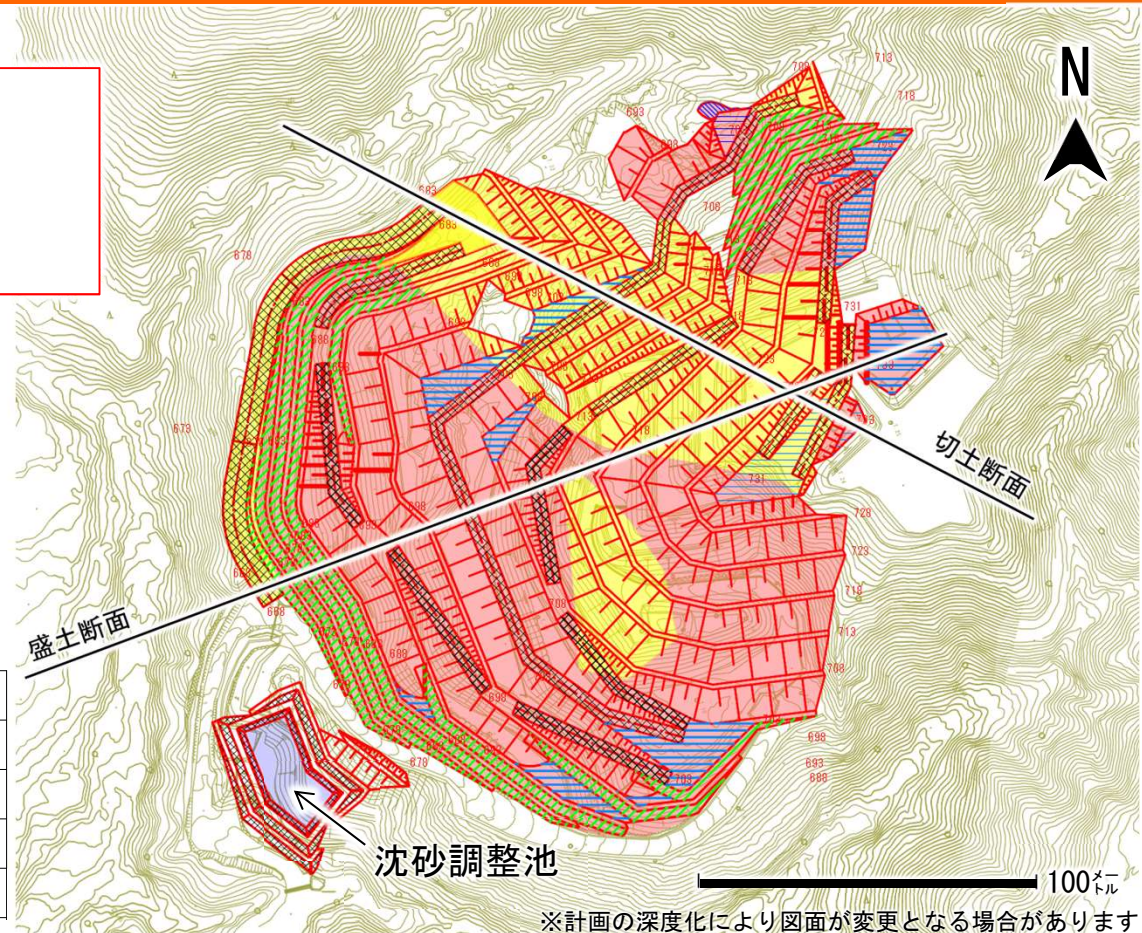
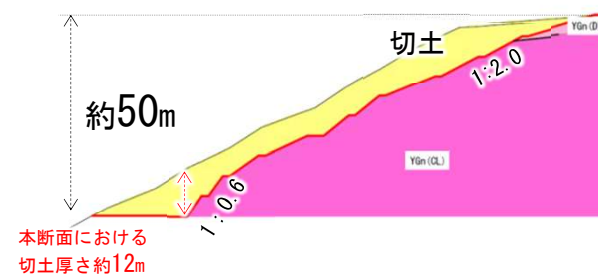
平面図凡例

	切土
	盛土
	管理用道路
	平場
	補強盛土

盛土断面



切土断面



盛土又は切土の高さ

- ・ 盛土：約60m、切土：約15m

盛土又は切土の土量

- ・ 盛土：約20万m³、切土：約1万m³

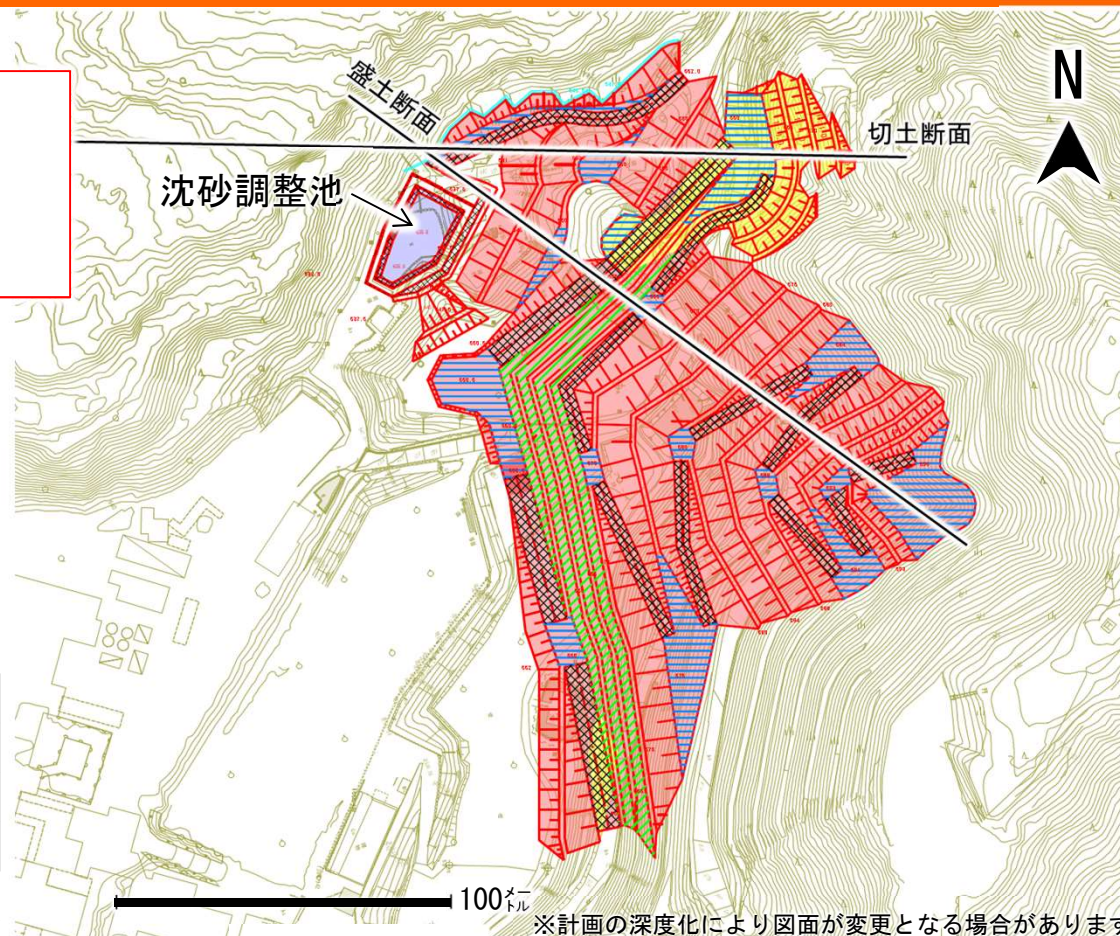
- ・ 補強盛土(勾配1:0.6)と
安定勾配盛土(勾配1:2.0)を複
合し盛土を計画しています

断面図凡例

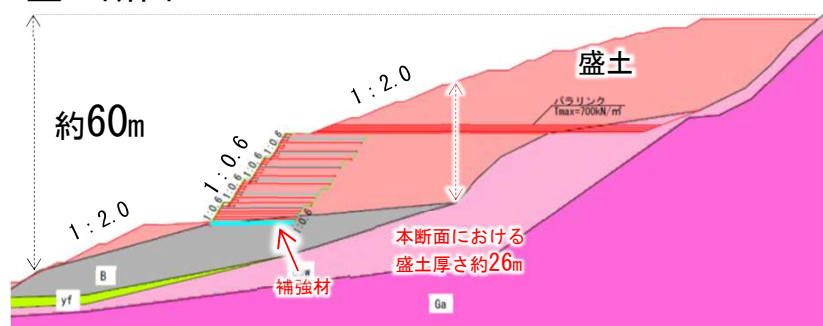
	切土
	盛土
	既設盛土 (玉石混じり砂礫)
	新規扇状地堆積物 (玉石混じり砂礫)
	風化花崗岩
	花崗岩

平面図凡例

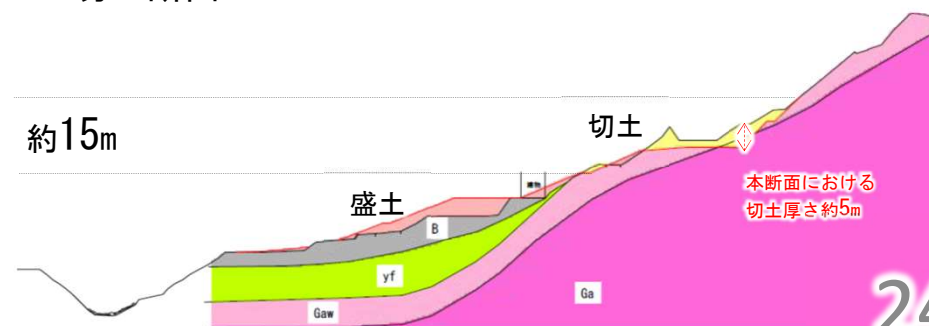
	切土
	盛土
	管理用道路
	平場
	補強盛土



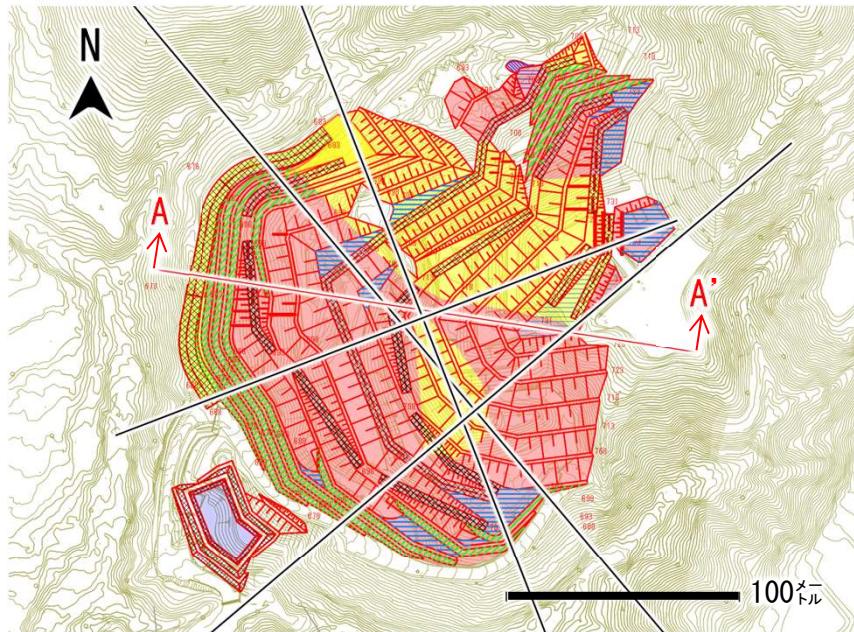
盛土断面



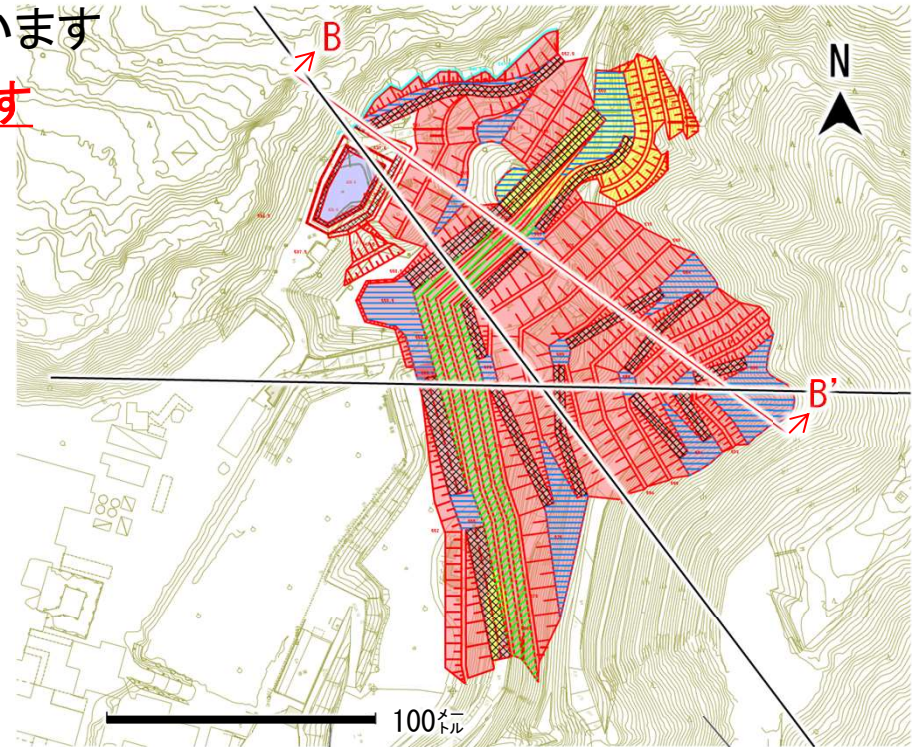
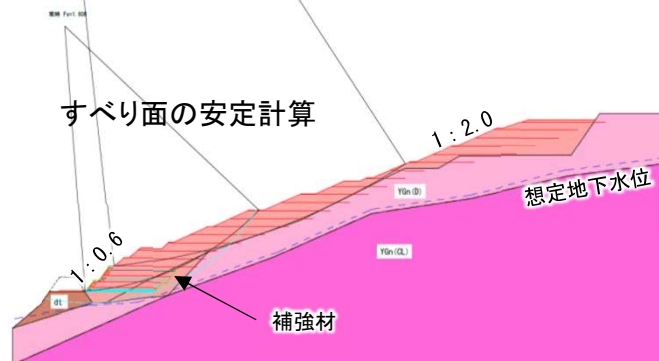
切土断面



- 発生土置き場は、最新の技術基準に基づき設計しています
- 地質調査結果を踏まえ、安定計算を行っています
- 安定計算の結果、**安全性は確保されています**

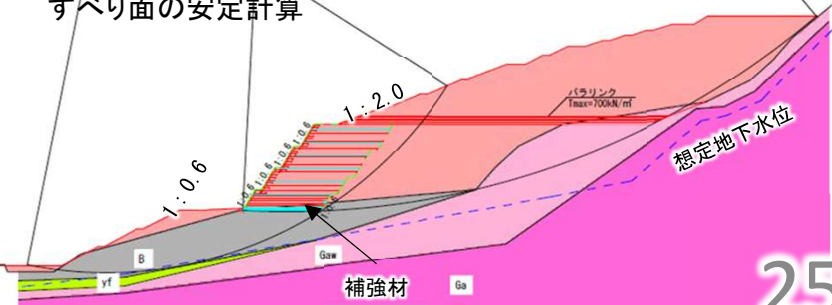


A-A' 断面 盛土安定上最も厳しい箇所



B-B' 断面 盛土安定上最も厳しい箇所

すべり面の安定計算



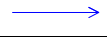
断面図凡例

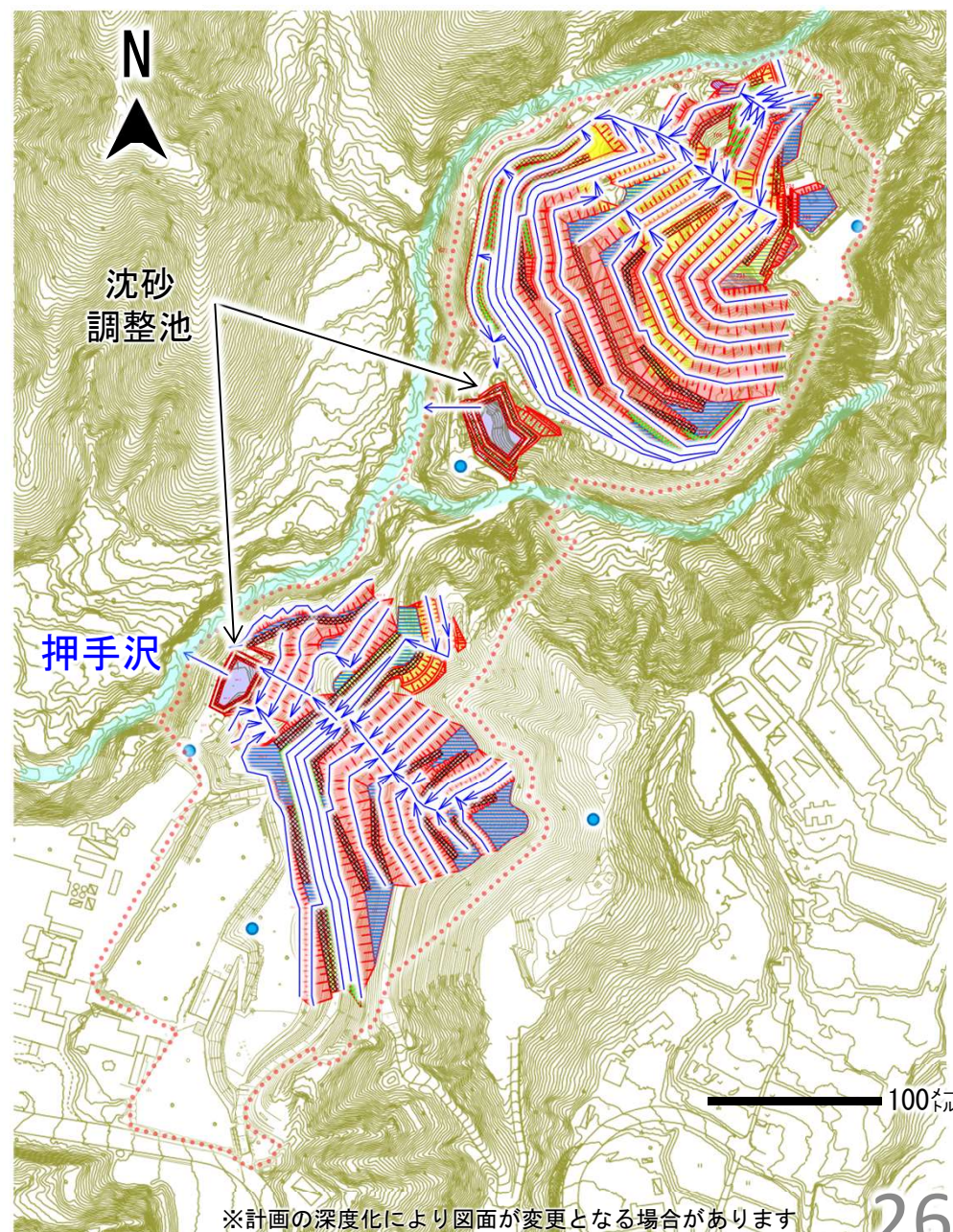
	切土
	盛土
	既設盛土 (玉石混じり砂礫)
	新規農状地堆積物 (玉石混じり砂礫)
	風化花崗岩
	花崗岩

表面排水計画

- 地表排水は側溝等で集水し、沈砂調整池へ導水します
- 沈砂調整池で流量を調整のうえ、押手沢へ排水する計画です
- 盛土等範囲外からの流水は排水側溝等で導水し、盛土内に流入しないように押手沢へ排水する計画です

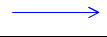
凡 例

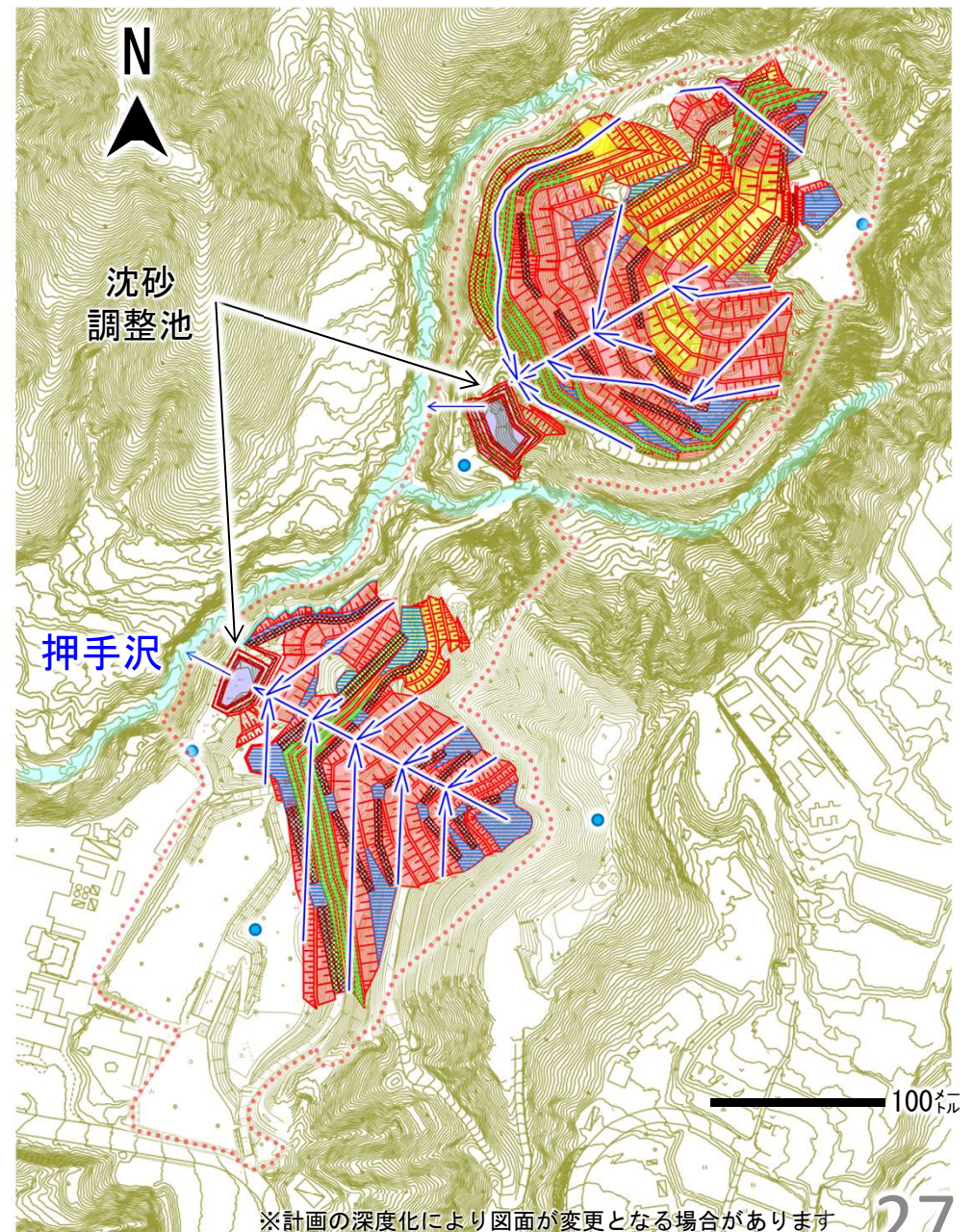
	切土
	盛土
	管理用道路
	平場
	補強盛土
	排水経路
	観測井設置箇所



- 地下排水(盛土内排水)は暗渠配管で集水し、沈砂調整池へ導水します
- 沈砂調整池で流量を調整のうえ、押手沢へ排水する計画です
- 盛土施工前に設置する右記観測井のほか、盛土内の水位を観測できるよう水位計等を設置する計画です

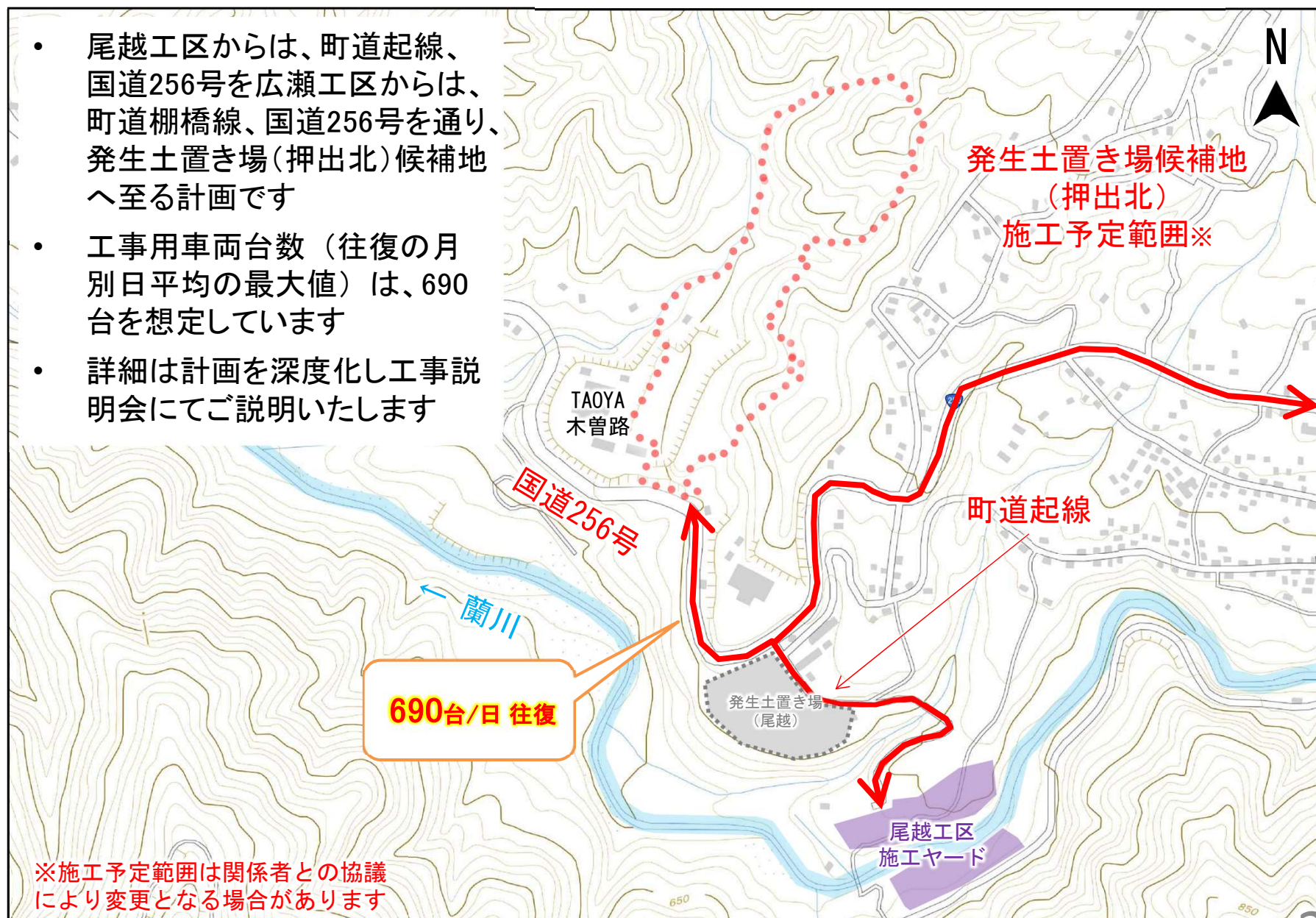
凡 例

	切土
	盛土
	管理用道路
	平場
	補強盛土
	排水経路
	観測井設置箇所



1. 発生土置き場候補地の位置・状況
2. 発生土置き場候補地の計画
- 3. 工事中、完了後の管理計画**
4. 盛土規制法に基づく周辺住民への周知
5. 今後の予定

- 尾越工区からは、町道起線、国道256号を広瀬工区からは、町道棚橋線、国道256号を通り、発生土置き場(押出北)候補地へ至る計画です
- 工事用車両台数(往復の月別日平均の最大値)は、690台を想定しています
- 詳細は計画を深度化し工事説明会にてご説明いたします



- ・大雨(1時間降水量30mm以上):
作業を中止し、巡回点検(法面、排水箇所等)の実施
異常を発見した際、異常時連絡系統図に従い、関係各所に連絡
安全確保に必要な措置の実施
- ・地震(震度4以上):
作業を中止し、巡回点検(法面、構造物等)の実施
異常を発見した際、異常時連絡系統図に従い、関係各所に連絡
安全確保に必要な措置の実施

- JRが用地を取得し、恒久的に管理します。
- 定期的に点検を行い、適宜必要な修繕を行います。

項目		方法
点検	盛土及びその周辺状況	目視
	開水路	目視
	地下排水管	目視
	沈砂調整池	目視
観測	盛土内地下水位	水位計
	降雨量	雨量計

1. 発生土置き場候補地の位置・状況
2. 発生土置き場候補地の計画
3. 工事中、完了後の管理計画
4. 盛土規制法に基づく周辺住民への周知
5. 今後の予定

- 盛土規制法に関する手引き・技術的基準（令和7年5月 長野県建設部）に記載の盛土規制法第11条 省令第6条に基づく周辺住民への事前周知の内容は以下の通りです

項目	内容
①: 工事主の氏名又は名称	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
②: 工事が施工される土地の所在地	長野県木曽郡南木曽町吾妻2278-1ほか
③: 工事施工者の氏名又は名称	大林・若築・株木 中央新幹線、中央アルプストンネル（尾越）特定建設工事共同企業体
④: 工事の着手予定年月日及び完了予定日	着手予定：許可日～ 完了予定：令和11(2029)年7月
⑤: 盛土又は切土の高さ	盛土高さ：約65m（北側）、約60m（南側） 切土高さ：約50m（北側）、約15m（南側）
⑥: 盛土又は切土をする土地の面積	約10万㎡
⑦: 盛土又は切土の土量	盛土量：約10万m ³ （北側）、約20万m ³ （南側） 切土量：約4万m ³ （北側）、約1万m ³ （南側）

1. 発生土置き場候補地の位置・状況
2. 発生土置き場候補地の計画
3. 工事中、完了後の管理計画
4. 盛土規制法に基づく周辺住民への周知
5. 今後の予定

- 専門家、関係行政の確認を経つつ、計画を深度化してまいります
- 準備が整い次第、工事説明会を開催し、工事計画を周辺住民の皆様へご説明いたします

【事業全般に関すること】

事業者 東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線長野工事事務所 (TEL 0265-38-6500)

環境保全事務所 (TEL 0265-52-6511)

住所 長野県飯田市元町5451番地

(受付日時 / 土、日、祝日、GW・お盆・年末年始を除く平日、9時～17時)

【工事の監督指導に関すること】

発注者 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

関東甲信工事事務所 中津川鉄道建設所 (TEL 0573-67-8690)

住所 岐阜県中津川市日の出町1-45

(受付日時 / 土、日、祝日、GW・お盆・年末年始を除く平日、9時～17時)

【工事内容に関すること】

施工者 大林・若築・株木 中央新幹線、中央アルプストンネル(尾越)

特定建設工事共同企業体〔構成員：(株)大林組・若築建設(株)・株木建設(株)〕

JV事務所 (TEL 0264-24-0910)

住所 長野県木曽郡南木曽町吾妻2333

※土・日・祝日に問い合わせいただく場合は、大林JVに問い合わせください。

大林JVから機構やJR東海に速やかに情報を展開の上、迅速にご対応いたします。

主な質問と回答(発生土置き場(押出北)候補地)

- ・ Q: JRが恒久的に管理する範囲はどこまでなのか
- ・ A: 当社が土地をお譲りいただく範囲を、管理することを考えている
- ・ Q: 工事期間はどの程度を考えているのか
- ・ A: 早ければ、来年からの着手を考えている。
- ・ 当候補地は、トンネル工事箇所との距離が短いため、ダンプ走行による地元への負荷を軽減できると考えており、工事進捗状況に応じ、完了時期は変動する
- ・ Q: 車両入口をよく検討する等、安全対策をお願いしたい
- ・ A: 関係者と協議のうえ現入口とは別箇所では入口を設ける等を検討し、工事説明会でご説明する
- ・ また、押出北以外の候補地が確保できれば台数の分散が図れる

主な質問と回答(発生土置き場(押出北)候補地)

- ・ Q: 表面が真砂化して土砂の流出が認められる箇所に盛土をして大丈夫なのか
- ・ A: 真砂化は花崗岩が風雨等に晒され、砂状になることである。
- ・ 真砂化した土の上にそのまま盛土するのではなく、切土を行い、その後盛土を行う計画である。
- ・ 切土は、搬出、混合、改良のいずれかを検討中だが、そのまま盛土することはない。
- ・ 法面を緑化すること、適切に排水設備を設置、管理することで安全性を確保できると考えている。

主な質問と回答(発生土置き場(押出北)候補地)

- Q: 妻籠地区で川の近くに住んでおり、年に数度避難が必要
盛土については、実施しないでほしい
- A: 押出北候補地については、現状のまま放置すると砂が蘭川へ
流出する状況が続くと考えている
- リニアの土を使って今より良い状況にしていきたい
- なお、蘭川については、町や県に動いていただき、浚渫工事が進
められ、たまった土砂が減っており、地元としても安全な状況に近
づいていると考えている